

アシスタント背景美塾



半年間の長期講座プラン

大
長
編



2018年度
第5期募集
4月より
スタート

未来の原稿を作る上げる。

マンガを描きたい

だけど原稿を描き上げることができない。

そんな悩みをよく耳にします。

ネット上には数多くのマンガの作り方やキャラの描き方がありますが、
作画をする上で一番大切なのは「ひらめき」その使い方を知ることでの「手応え」です。
この手応えを感じ取ろうとするのは、一人ではなかなか難しいのです。

努力の方法を知ると手応えをモノにしやすくなり、得られる技術も増えます。

大長編では、実戦型の授業と現場で使えるプロの技術により、確実な作画力向上を目指しています。

また、苦手意識は最大の敵。大長編は少人数制の授業です。皆さんに合った解決法を探して行くことができます。

苦手感を払拭し「楽しむ」を伸ばして行きましょう！

近年 Web 系の漫画などが増えたことにより、マンガ家になる人達が年々増えています。

原稿を完成させる力を養う事。それが夢へ直結する時代でもあります。

プロ仕様の感覚を皆さんの作品に吹き込んでみませんか？

大長編のご受講を楽しみにしております！



アシスタント背景美塾 MAEDAX 派
塾長 MAEDAX (前田耕作)

アシスタント背景美塾の原稿完成力 UP

大長編では、アシスタント背景美塾の授業を受けていただく事で、さらにワンランク上の授業を経て確実な画力向上を目指します。

6カ月間の46日間、オリジナル原稿制作を重点にプロ仕様となる独自のマンガカリキュラムで体系的に身につけます。背景美塾の特徴でもある実践型の授業を多く配置し、作品作りに役立つ実践的かつピンポイントな技術の使い方を、現役のプロアシによる授業で身につけていただきます。他では味わえない、第一線のプロの眼力を体感して下さい。



背景美塾を選ぶ 3つの理由

大長編は、独自のカリキュラムで社会人の方が働きながら学ぶことができます。マンガ制作におけるスケジュールを考え、必要な講座を配置しマンガ現場で通用するスキルを指導いたします。従来のマンガ指導にはない、既存の枠を超えた実践的な講座内容となっています。

プロの技術を身につけ 作画スキルの向上を！

背景美塾での半年間で得る刺激とひらめきは、ご自身の作画技術への「手応え」となります。今後の漫画制作への階段の二段上がりを実感して下さい！講師は、週刊漫画アシスタントのチーフ級の「実践型講師」ばかり。少人数制で皆さんのスキルを、引っ張りあげて最大限に後押しします！

Skill

pleasant

背景美塾の授業は、 「楽しむこと＝学び」

漫画のイメージ力からアナログの作画基礎、デジタル作画の応用までを一貫して行う事で、通常授業以上に作品作りの楽しさを、より感じ、より伸ばすことができる授業スタイルです。さらに、漫画制作に必要なネームや構成力、キャラクターデザインを通して、漫画のトータルテクニックを磨き上げ「原稿完成力」を養います。

Confidence

作品を創ることへの 「自信」をつける。

独学で学ばれている方の一番の不安要素は、「これで本当にいいのだろうか？」という漠然とした不安感です。大長編では背景美塾が行う主要な講座が網羅されており、これを受講し実際に作品を仕上げていくことにより、技術の向上とともに期間内に作品を完成させるということが自信となります。



原稿を作り上げた未来。



(C) 吐兔モノロブ / 少年画報社
月刊アワーズ GH 連載中
<http://www.shonengahosha.co.jp/event.php?id=7405>

大長編を受けるきっかけは、単純に漫画のレベルを上げたいという軽い気持ちでした。絵の勉強もやってこなかったので、一回ちゃんと受けてみようかなと、ふわっとした感じでした。授業は基礎からわかりやすく説明して頂き、少人数ですので質問もしやすく、勉強をしたことがなくても安心して授業を受ける事ができました。

熱意ある授業を受ける中で、自分も一生に1回はアシスタントやってみたいと思うようになり、出版社へ持ち込みをしました。

それを縁に声がかかり、大長編で勉強しながら課題の読切りを作り、その作品でデビューする事ができ連載まで決定しました。

作品や担当さんのやりとりで、とても迷ったり悩んだりしましたがすぐ先生に相談する事ができて助かりました。

また、憧れていた作家さんのアシスタントも経験する事ができました。

背景だけではなく、先生のサポート、受講生との交流、楽しくてあつという間の半年でした。大長編のお陰で漫画家になれて感謝しています。



吐兔モノロブ

とうさぎものろぶ
大長編第2期卒業
創刊30周年記念ヤングキング新人漫画賞「paper man」期待賞
連載「少女境界線」アワーズGH12月号より（少年画報社）



少年サンデー（小学館）
小学館新人コミック大賞 HP: <http://shincomi.shogakukan.co.jp/>
少年サンデー HP: <http://websunday.net/>

大長編には本当に感謝しています。

前田先生の初級講座では、初心者向けのパースの基礎から、アシスタント現場ですら中々教えてもらえない超実践的な背景作画技術、描くのが楽しくなってくる作画の心構えを教えてくださいました。前田先生はどんな質問にも具体的な答えを出してくださるので、「自分でも違うのは分かるんだけど、何が違うのか分からない…」という作画のストレスが、次々に解消されていきました。

続いてアナログ作画やデジタル作画に必要な技術、デジタル作画ソフトの活用法、パソコンのセッティングまで教えていただけました。一回一回の授業の密度が非常に濃く、本来は何年も描き続けて見つける技術を、丁寧に言語化して伝えてもらえます。その日教わった技術がそのまま使える！という感じです。自分の表現力が急速に広がっていくのが実感できます。描きたいけど、ちゃんと描けるか不安だという方に、大長編はぴったりです。



中山ゆき

なかやまゆき
大長編第4期。小学館新人コミック大賞「ベンチウォーマーズ」にて佳作を受賞。
少年サンデー 2018年 No2 にて発表。



(C) 北国良人 / 双葉社
デジタル BL 誌「コミック マージナル」にて配信中。
http://www.futabasha.co.jp/comic_marginal/

一昨年の10月に2期生として大長編に参加させて頂きましたが、一昨年の今頃は自分が月刊誌で連載を持つことになるとは想像だにしていませんでした。

当時の自分に漫画家としてデビューしたいという意志は希薄で、どちらかというと漠然と絵で日銭を稼げるようになりたい程度の目標しか持ち合わせていませんでしたから。大長編では前田先生を始め、一線でアシスタントとして活躍するプロの講師の方々から直々にすぐに現場で通用する確かな技術を学べます。それは僕自身が丁度受講期間中にアシスタントの仕事に入る機会があったことで肌で実感することが出来ました。

また各々目標は違えど「自分の漫画が描きたい」という志の下、創作意欲に満ち溢れた受講生の方達と時に協力し合いながら課題に取り組む体験が何よりも大きいです。

漫画家に限らず何かを作り出す人間にまず必要なものは道具や知識以前に人の集まる「場」だと思っています。そういう意味では大長編は刺激に満ちた素晴らしい環境を僕に提供してくれました。

単なる技術講習に留まらず、多大な創作へのモチベーションとインスピレーションが得られる、そんな「場」であると言えるでしょう。



北国良人

きたぐにらと
大長編第3期卒業生
デジタル BL 誌「コミック マージナル」(双葉社)
2017年8月号11月号「狐の婿入り」を前編、後編と配信中。
次回作に向けて鋭意制作中。

TOUSAGIMONOROBU
KITAGUNIRATO
NAYAKAMAYUKI

卒業生
メッセージ



担任 柚木 元

塾長 前田 耕作

塾長 前田 耕作 (写真右)

鹿児島県出身。福岡の短大卒業後、瀬口たかひろのアシスタントとして2年半活動。その後12年に渡り週刊連載のアシスタントを勤め、チーフアシスタント的な役割も担う。兄弟子にあたる畑健二郎は「プロのアシスタントとしては、恐ろしく有能でもの凄い技術の持ち主」と評する。「MAEDAX」名義で声優名鑑に載るなど多方面の活躍があり、漫画家アシスタントとして日本で一番の知名度を誇るcomic レックス「背景萌え」を連載中。和光大学非常勤講師を務める。

担任 柚木 元 (写真左)

東京都出身。高校卒業後、名だたる作家の元を渡り歩き背景技術を磨いてきた、20年以上務めた叩き上げのプロアシスタント。デジタル作画など、最新の技術もいち早く取り入れ、つけペンから液晶タブレットまで幅広く使いこなす。週刊少年サンデー『ハヤテのごとく!』元チーフアシスタント。東京工学院専門学校マンガ学科講師。和光大学非常勤講師。NHKE テレ「JAPANGEL」出演。ヒューマンアカデミー通信講座講師を務める。



福原 蓮士
ふくはられんじ

北海道出身。漫画家。別冊マガジン「ウィザードリー-ZEO」で初連載。「煉獄ゲーム」「御伽のレガリア」現在はコミックウォーカーにて「エノク第二部隊の遠征ごはん」を連載中。



稲田 晃司
いなだこうじ

関西出身。「GIANT KILLING」の発足から携わりチーフを務める。ゲームのパッケージなど手がけ、イラストレーターとしても活躍する。現在は『コノドリ』の鈴木木ユウ先生のもとで努める。



石川 洋平
いしかわようへい

宮城県出身。PC販売のキャリアを活かし、漫画家のPC環境などの構築を任されるなど、デジタル手腕を発揮する。畑健二郎はじめ、大祐クロウ、高田康太郎、などアシスタントを務める。



中山 たかひろ
なかやまたかひろ

埼玉県出身。マンガアシスタントを5年経験した後、グラフィックソフトウェア開発会社に入社。デモンストレーター・営業・マーケティング担当として漫画家や学生などに対し、デジタルマンガの描き方についてセミナー等を多く行う。



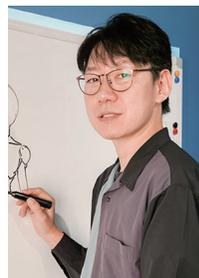
山崎 智史
やまざきさとし

新潟県出身。一般企業で5年半勤務したのち、上條淳士のアシスタントとして漫画業界に入りその右腕を務める。2014年、月刊スピリッツにてデビュー作「おにもおと」掲載。



佐藤 敦弘
さとうあつひろ

千葉県出身。「NARUTO」メインアシスタントとして活躍。森田まさのり、小畑健、など名だたる漫画家の元での実績からチーフポジションを任される。一昨年より京都精華大学にて講師も務めている。また、切り絵作家としても活躍。



松島 幸太郎
まつしまゆきたろう

静岡県出身。まんが家・作家。1996年、週刊少年チャンピオンにて前後編「エースナンバー10」でデビュー。「ショー☆パン」(森高次郎 原作) 全33巻。「永遠の一手」(伊藤智義 原作) 上下巻の作画を手がける。

大長編をささえる講師陣
背景美塾だからこそできる現場を活かした授業

マンガ制作で身につける取り組み 半年間で実践するカリキュラムと日程

1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目
基礎編			応用編		
背景基礎 プロット制作 プロット講評会・添削	ネーム制作 コマ割り基礎 CLIPSTUDIOPAINT 基礎 アナログペン入れ 基礎 プロット講評会・添削	ネームからの下書き CLIPSTUDIOPAINT 背景 背景トレース基礎 下書き講評会・添削	制作添削 作画テクニック キャラクタースケッチ アナログ背景応用	制作添削 CLIPSTUDIOPAINT 応用 効果線 実践原稿制作	作品講評会 作画アドバイス 実践原稿制作 卒業式

大長編受講特典

- 他講座の割り引き（受講後も適応）
- マンガ道場（大長編受講生などの自習室）
- LINE での個別指導（時間外対応）

募集人数：各8名

授業日程：毎週火水曜2日間・毎週土日曜2日間

開始時間：AM 9:00～12:00（3H）

授業日数：46日間（正月、GW、お盆は休み）

※毎週火、土曜日 13:30～16:30 自習時間

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3丁目2 1-6 大崎ビル4F

TEL/FAX：03-6434-5323

Twitter：@haikei_bijuku

Facebook：https://www.facebook.com/haikeibijuku/

- JR 原宿駅竹下口より徒歩 12 分
- 東京メトロ千代田線明治神宮前より徒歩 8 分
- 東京メトロ副都心線明治神宮前より徒歩 8 分

平日、週末に説明会 & 体験会を 3 月に開催中！

※要予約、詳しくは下記 Web サイトまで

背景美塾 HP <https://haikeibijuku.com/>

大長編 HP https://haikeibijuku.com/category/item/kouza/kouza_daityou/



